

平成30年度

名古屋大学大学院環境学研究科

博士課程（後期課程）

地球環境科学専攻
都市環境学専攻
社会環境学専攻

学生募集要項

(平成30年4月入学 第Ⅱ期募集)

名古屋大学大学院
環境学研究科

熊本地震により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について
Entrance Exam Fee Special Exemption for Applicants who are Victims of the Kumamoto Earthquake

熊本地震により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、平成28年4月に発生した熊本地震による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ホームページを確認してください。

We express our deepest condolences to those who were affected by the Kumamoto Earthquake.

Nagoya University will be implementing a special measure for entrance examination fee exemption to alleviate the economic burden on victims of the Kumamoto Earthquake which occurred in April of 2016, and to secure the educational opportunities of applicants from the affected areas.

For details, please check the university website.

○**本学ホームページ**

URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

大学からのお知らせ→受験生向け

○**University Website**

URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

Notice from the University → For Applicants

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

◇ **環境学研究科ホームページ**

URL <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>

◇ **連絡窓口**

名古屋大学大学院環境学研究科 大学院係

TEL 052-789-4272/4590

アドミッション・ポリシー (学生受入方針)

本研究科は、環境学を支える自然、都市、社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに、専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し、さらに、その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために、本研究科は、惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状、動態、変遷を探究する地球環境科学専攻、都市の社会基盤、建築物などの人工環境を創造し、水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻、人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し、環境政策を提言する社会環境学専攻、から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって、持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。

Department of
Earth and Environmental Sciences

Department of
Environmental Engineering and Architecture

Department of
Social and Human Environment



環境学研究科が育成しようとする人

人類社会の中での自らの役割を見出すことができ、国際的に活躍することができる、次のような人を育成することを目指します。

- ・専門分野の創造的推進、環境学の創成を担う人
- ・状況が変化したとしても専門的知識を柔軟に応用できる人
- ・異分野の成果を統合して環境問題に果敢に取り組む人

特に、地球環境科学専攻は、地球の環境に関する科学的知見の深化を通して社会に貢献できる人材、都市環境学専攻は、人の視点に立って、毎日の生活の場である建築、都市、あるいは地域における自然環境—人工環境—人間環境の新たな関係を自ら創出できる人材、社会環境学専攻は、価値規範の妥当性と科学的客観性を備えた政策評価・提言の可能性を追求する人材、あるいは国内外の社会環境政策にかかわる様々な分野の要求に応えることのできる人材、を育成します。

環境学研究科が求める人

確かな基礎学力をもつ次のような人を、広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

- ・専門分野の深化を目指す人
- ・横断的な思考力の獲得を志す人
- ・環境問題の解決、新たな学問分野の開拓への意欲をもつ人

環境学研究科の入学者選抜

専門分野および英語の基礎学力とともに、専門知識応用力、横断的思考力、勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。

平成30年4月に本学大学院環境学研究科〔博士課程（後期課程）〕に入学又は進学する学生を下記の要項により募集する。

出願にあたっては、一般選抜のほか、外国籍を有し、本研究科に在留資格「留学」で在学することができる者は、留学生特別選抜を選択できる。

なお、最終学歴の後、平成30年3月31日までに2年以上の社会人（家事・家業従事者、退職者等を含む）としての経験を有し、出願時にも社会人の立場にあり、かつ正規学生・研究生でない者は、社会人特別選抜を選択できる。

また、出願にあたっては指導希望教員への事前連絡や内諾等を必要とする場合もあるので、受験を希望する試験の注意事項をよく確認すること。

詳しい内容については本募集要項のほか、別冊の「平成30年度名古屋大学大学院環境学研究科入学（進学）試験受験案内（以下、受験案内）」もあわせて確認すること。

1. 出 願 資 格

次の各号の一に該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月31日までに有する見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに有する見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに有する見込みの者
- (5) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに24歳に達する者

* 出願資格(5)、(6)により出願しようとする者は、出願資格の有無について事前審査を実施するので、あらかじめ本研究科大学院係に照会の上、平成29年12月11日（月）までに所定の申請書類を提出すること。

2. 募 集 人 員

地球環境科学専攻	24名
都市環境学専攻	21名
社会環境学専攻	13名

* 募集人員には、本募集における人員、平成29年8月実施の第I期募集の人員および平成30年8月実施予定の平成30年秋入学募集における人員が含まれる。

（留学生特別選抜による各専攻の定員5名、社会人特別選抜による若干名を含む。）

* 統合環境学特別コースは、環境学研究科の博士課程（後期課程）の各専攻（各系・各コース）に入学または進学する者が、本人の希望により選択する。同コースの詳細は別冊の受験案内を参照

すること。

3. 願書受付期間

受付期間：平成30年1月5日（金）～1月12日（金） ※土日祝日を除く

受付時間：(持参の場合) 10時～12時, 13時～16時

4. 出願手続き

郵送もしくは本研究科大学院係窓口への持参のいずれかとする。郵送の場合、送付は、簡易書留郵便または速達書留郵便とすること。上記における最終日の16時までに到着したものに限り受け付ける。ただし、1月10日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り、期限後に到着した場合も受理する。持参の場合、受付最終日は、窓口の混雑が予想されるため、可能な限り前日までに持参することが望ましい。

志願者は、5.1項(1)～(11)の書類の内、出願に必要とする書類一式を表面に「大学院博士課程（後期課程）入学願書在中」と朱書した封筒に入れ、入学検定料30,000円を添えて提出すること。入学検定料は郵便局の普通為替とし、為替には一切記入しないこと。

なお、本学大学院博士課程（前期課程）を修了し、引き続き本研究科博士課程（後期課程）へ進学する者及び国費外国人留学生は、入学検定料は不要。

● 出願書類の送付もしくは提出先

名古屋市千種区不老町 D2-2 (510) (郵便番号 464-8601)

名古屋大学大学院環境学研究科 大学院係

● 留意事項

- 1) 出願書類に不備のある場合は受け付けないので留意すること。
- 2) 出願手続き後は、いかなる事情があっても書類の変更は認めない。
また、出願書類及び入学検定料の返還は行わない。
- 3) 受験票の発送には、諸事情により期間を要する場合がありますので、願書の受理及び受験票の発送についての照会は、試験実施日の5日前まで行わないこと。

5. 提出書類

5.1 出願時に提出する書類

入学又は進学志願者は、次の書類を上記「4. 出願手続き」に従って、本研究科に提出すること。

- (1) 入学・進学志願票, 受験票, 写真票, 履歴書, 志願理由書
本研究科所定の用紙に記入したもの。(Webでダウンロードしたものは不可)
- (2) 修士学位取得(見込)証明書又は修了(見込)証明書
ただし、外国の大学を修了した者は、大学又は公証所等が発行した証明書(日本語あるいは英語で書かれていない場合は、日本語訳版または英訳版を添付)を提出のこと。(コピーは不可)
なお、本研究科博士課程(前期課程)を修了見込みの者は、提出不要。
- (3) 成績証明書
修士課程又は博士課程(前期課程)におけるもので、出身大学長又は研究科長等が作成し、改ざ

んが行えない処理が施されたもの。

外国の大学を修了した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、日本語訳版または英訳版を添付）を提出のこと。（コピーは不可）

なお、本研究科博士課程（前期課程）を修了見込みの者は、提出不要。

【注：中国の大学修了者の方へ】

中国の大学修了者の(2)修士学位取得（見込）証明書又は修了（見込）証明書，ならびに(3)成績証明書について疑義がある場合は，中国政府直轄財団「中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）」が運営している，「中国学位・学歴認証システム」により学歴を確認することができるので留意すること。

(4) 修士学位論文又は研究論文等

○地球環境科学専攻

* 地球惑星科学系

修士学位論文の要旨（A4版1枚）

* 大気水圏科学系

修士学位論文又はその要旨，論文別刷，学会講演要旨など

○都市環境学専攻

* 空間環境学コース，物質環境学コース

修士学位論文の要旨（A4版1枚程度）

* 建築学コース

修士学位論文概要

修士学位論文（未提出の場合には提出予定のもの）の概要を1,000～2,000字でA4用紙に任意の書式でまとめたもの。修士論文の梗概などがあればそれでも可。

修士学位論文がない場合には修士の学位の審査対象の研究，作品などについて上記と同様の要領で提出すること。

○社会環境学専攻

修士学位論文（コピー可）

修士学位論文を提出していない場合，これまでの研究内容をまとめたものを提出すること。

（修士学位論文の草稿可）

学会誌等に発表した論文がある場合，主要な論文のコピーを提出のこと。

(5) 研究計画書（社会環境学専攻を受験する者）

本研究科所定の用紙（志願理由書の裏面）に記入したもの。

(6) 自己推薦書（社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）

社会環境学専攻の自己推薦入試を受験するものは，本研究科所定の用紙（志願理由書の裏面）に自己推薦理由を記入したものを提出すること。

(7) TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本（社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）

社会環境学専攻の自己推薦入試を受験するものは，TOEFLの“Examinee Score Report” TOEICの“Official Score Certificate”〈公式認定証〉またはIELTSの“Test Report Form”〈成績証明書〉（以下，これらを「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」と呼ぶ）の原本を提出する。ただし，TOEFLについては，iBT（Internet-Based Test）またはPBT（Paper-Based Test）の

いずれかとする。TOEIC については、Listening & Writing Test に限る。IELTS については、アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては平成28年2月1日以降に受験したものを有効とする。平成28年1月31日以前に受験したものや、その他の受験制度、例えば TOEFL-ITP (Institutional Testing Program), TOEIC-IP (Institutional Program), TOEIC (Speaking&Writing Test), TOEIC (Bridge Test), IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。なお、英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了したもの、あるいは卒業・修了予定のものは、スコアシートの提出を必要としない。

(8) 領収証書、領収証書（控）

本研究科所定の用紙に、氏名のみ記入のこと。なお、本学大学院博士課程（前期課程）を修了し、引き続き本研究科博士課程（後期課程）へ進学する者及び国費外国人留学生は不要。

(9) 返信用封筒 2通（受験票送付用、判定結果通知用）

本研究科所定の返信用封筒2通に住所、郵便番号、氏名を明記して提出すること。

なお、受験票送付用封筒には362円分の切手を貼付すること。

(10) 宛名シール（入学手続書類の送付用）

本研究科所定の用紙に、住所、郵便番号、氏名を明記して提出すること。

(11) 現在、国費外国人留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）。ただし、現在名古屋大学に在学中の国費外国人留学生は提出不要。

5.2 試験当日に提出する書類

都市環境学専攻（空間環境学コース・物質環境学コース）の入学志願者は、TOEFL (Test of English as a Foreign Language), TOEIC (Test of English for International Communication), または IELTS (International English Language Testing System) の次の書類のいずれかを、試験当日の下記「6. 選抜方法等」に指定された時間及び方法で提出すること。提出されなかった場合、試験科目「英語」の点数を零点とする。また、提出されたスコアシートの原本は試験後においても返却しない。

○ TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本

TOEFL の“Examinee Score Report”, TOEIC の“Official Score Certificate”〈公式認定証〉, または IELTS の“Test Report Form”〈成績証明書〉(以下、これらを「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」と呼ぶ)の原本を提出する。ただし、TOEFL については、iBT (Internet-Based Test) または PBT (Paper-Based Test) のいずれかとする。TOEIC については、Listening & Writing Test に限る。IELTS については、アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては平成28年2月1日以降に受験したものを有効とする。平成28年1月31日以前に受験したものや、その他の受験制度、例えば TOEFL-ITP (Institutional Testing Program), TOEIC-IP (Institutional Program), TOEIC (Speaking&Writing Test), TOEIC (Bridge Test), IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。

6. 選抜方法等

入学者の選抜は、一般選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜に分けて行い、出願書類、学力検査により総合的に判定し、合格者を決定する。

また、各試験の詳しい内容については、本募集要項のほか、別冊の受験案内もあわせて参照すること。

統合環境学特別コース参加者の選抜は、各専攻の入試にしたがって実施する。参加希望者は、入学志願票の所定欄にその旨を明記すること。

6.1 地球環境科学専攻

地球環境科学専攻には、地球惑星科学系と大気水圏科学系がある。

地球惑星科学系には、地球環境システム学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、地球惑星ダイナミクス、地球史学、生態学の各分野がある。

大気水圏科学系には、地球環境変動論、気候科学、物質循環科学、地球水循環科学の各分野がある。

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、希望研究テーマなどについて、事前に指導教員等に連絡をとることが望ましい。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月14日(水)	13:00～	口述試験 (注1)

(注1) 修士学位論文等の発表及び口頭試問。詳細は別冊の受験案内を参照すること。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、出題等については、語学力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月14日(水)	13:00～	口述試験 (注1)

(注1) 修士学位論文等の発表及び口頭試問。詳細は別冊の受験案内を参照すること。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、希望研究テーマなどについて、事前に指導教員等に連絡をとることが望ましい。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月14日(水)	13:00～	口述試験 (注1～3)

(注1) これまでの研究内容及び後期課程での研究計画についての説明を課すとともに、専門に関する能力についての口頭試問を行う。詳細は別冊の受験案内を参照すること。

(注2) 来学受験を原則とするが、受験のための来学が極めて困難な場合、Skype等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は、必ず希望する指導教員に連絡し、平成29年12月12日(火)までに内諾を取った上で、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄にその旨を明記すること。願書の審査時に承諾が得られた場合に限り、口述試験をオンラインで行う(希望が必ず認められるわけではない)。オンライン受験の希望者は、上記日程の指定された時間(日本時間)に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお、通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合、欠席扱いとすることがある。

(注3) 社会人特別選抜のオンライン受験希望者には、受験票発送時にオンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

④ 試験場所

各試験の会場は、別冊の受験案内を参照すること。

6.2 都市環境学専攻

都市環境学専攻には、空間環境学コース、物質環境学コース及び建築学コースがある。

「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」参加者の選抜は、空間環境学コースの入試にしたがって実施する。同プログラムについては、別冊の受験案内を参照すること。

また、試験科目「英語」については、空間環境学コース、物質環境学コースでは、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本の提出を求め、その点数を換算して採点する。建築学コースでは、筆記試験(英語)を行う。提出可能な、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本については、「5.2 試験当日に提出する書類」の項を参照すること。スコアシートの提出方法については、別冊の受験案内を参照すること。

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

空間環境学コース、物質環境学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月1日(木)	9:30~12:00	筆記試験(専門科目) 又は口述試験 (注1)
	13:00~15:00	口述試験 (注2)
	17:30~	面接 (注3)

(注1) 筆記試験(専門科目)又は口述試験の内容は以下のとおりである。

○空間環境学コースを希望する者：筆記試験を実施する。指導希望教員と相談の上、試験科目(3分野)を設定する。

○物質環境学コースを希望する者：口述試験を実施する。これまでの研究内容及び後期課程での研究計画についての説明を課すとともに、専門に関する知識を問う。

(注2) 口述試験の内容は以下のとおりである。

○空間環境学コースを希望する者：専門科目の問題に基づいた口頭試問を行う。

○物質環境学コースを希望する者：実施しない。

(注3) 面接の内容は以下のとおりである。

○空間環境学コースを希望する者：主として、志望の動機、入学後の学習・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

○物質環境学コースを希望する者：実施しない。

建築学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月2日(金) ～2月8日(木)の間 (注1)	2時間	筆記試験(英語)
	2時間	筆記試験(専門科目)
	1時間	口述試験 (注2)
平成30年2月8日(木)	14:00～	面接 (注3)

(注1) 試験日は後日設定するので、指導希望教員と連絡を取り、その指示に従うこと。

(注2) 希望する指導教員を中心とする建築学コースの教員により、これまでの研究内容および後期課程での研究計画に関連する事項ならびに専門に関する能力について口述による試験を行う。

(注3) 建築学コースの全教員により、志望の動機、これまでの研究内容および入学後の学習等に関連する事項を試問する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

空間環境学コース、物質環境学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月1日(木)	9:30～12:00	筆記試験(専門科目) 又は口述試験 (注1)
	13:00～15:00	口述試験 (注2)
	17:30～	面接 (注3)

(注1～3) 「①一般選抜(空間環境学コース、物質環境学コース)」の(注1～3)に同じ。

建築学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月2日(金) ～2月8日(木)の間 (注1)	2時間	筆記試験(英語)
	2時間	筆記試験(専門科目)
	1時間	口述試験 (注2)
平成30年2月8日(木)	14:00～	面接 (注3)

(注1～3) 「①一般選抜(建築学コース)」の(注1～3)に同じ。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

空間環境学コース、物質環境学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月1日(木)	9:30～12:00	口述試験 (注1)
	17:30～	面接 (注2)

(注1) 口述試験の内容は以下のとおりである。

これまでの研究内容及び後期課程での研究計画についての説明を課すとともに、専門に関する知識を問う。

(注2) 「①一般選抜(空間環境学コース, 物質環境学コース)」の(注3)に同じ。

建築学コース

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月2日(金) ～2月8日(木)の間 (注1)	2時間	筆記試験(英語)
	1時間	口述試験(注2)
平成30年2月8日(木)	14:00～	面接(注3)

(注1～3) 「①一般選抜(建築学コース)」の(注1～3)に同じ。

④ 試験場所

各試験の会場は、空間環境学コース・物質環境学コース志願者については、別冊の受験案内を参照すること。建築学コース志願者については、別途通知する。

6.3 社会環境学専攻

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

指導希望教員が決まっている場合は、事前に連絡をとることが望ましい。

試験種別	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
普通入試	平成30年2月13日(火)	9:30～11:30	筆記試験(専門科目)(注1)
	平成30年2月14日(水)	9:30～	口述試験
自己推薦入試(注2)	平成30年2月14日(水)	9:30～	口述試験(注3, 4)

(注1) 筆記試験(専門科目)の分野別の出題範囲は、以下のとおりである。筆記試験(専門科目)は、入学志望分野からの出題に解答すること。

環境政策論分野	環境政策に関する問題を提出する(英文の問題を含むことがある; 辞書の持ち込みは認めない)。
経済環境論分野	修士課程(博士前期課程)の研究内容について出題する。
環境法政論分野	法学・政治学に関する英文による出題。辞書の持ち込みを認める。ただし、電子辞書の持ち込みは認めない。
社会学分野	英文の設問を含む社会学全般。辞書の持ち込みを認めない。
地理学分野	外国語の設問を含む地理学全般。辞書の持ち込みを認めない。

(注2) 自己推薦入試を希望するものは、指導希望教員から事前に了承を得なければならない。(自己推薦入試は、特に高い能力を有すると指導希望教員が判断した者のみ受験が認められる。それ以外の場合は普通入試を受験すること。なお、普通入試と自己推薦入試の併願は認めない。) 事前了承は平成29年12月12日(火)までに得ておかなければならない。また、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄に、事前了承を得た教員名を明記すること。

- (注3) 自己推薦入試においても来学受験を原則とするが、受験のための来学が極めて困難な場合、Skype等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は必ず、希望する指導教員の内諾を平成29年12月12日(火)までに取り、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄にその旨を明記すること。(希望が必ず認められるわけではない。)オンライン受験の希望者は、上記日程の指定された時間(日本時間)に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお、通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合、欠席扱いとすることがある。
- (注4) 自己推薦入試のオンライン受験希望者には、受験票発送時にオンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月13日(火)	9:30~11:30	筆記試験(専門科目) (注1)
平成30年2月14日(水)	9:30~	口述試験

(注1) 「①一般選抜」の(注1)に同じ。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

指導希望教員が決まっている場合は、事前に連絡をとることが望ましい。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成30年2月14日(水)	9:30~	口述試験 (注1, 2)

(注1) 来学受験を原則とするが、受験のための来学が極めて困難な場合、Skype等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は、必ず希望する指導教員に連絡し、平成29年12月12日(火)までに内諾を取った上で、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄にその旨を明記すること。願書の審査時に承諾が得られた場合に限り、口述試験をオンラインで行う(希望が必ず認められるわけではない)。オンライン受験の希望者は、上記日程の指定された時間(日本時間)に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお、通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合、欠席扱いとすることがある。

(注2) 社会人特別選抜のオンライン受験希望者には、受験票発送時にオンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

④ 試験場所

各試験の会場は、受験票発送時に通知する。社会人特別選抜のオンライン受験希望者には、オンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の指定時刻を事前に連絡する。

6.4 採点評価・合否判定基準

専攻名	採点評価基準	合否判定基準
地球環境科学専攻	○口述試験 大学院での専門的な学習・研究に必要な総合的な能力と適性を見る。問われた事項を的確に理解し、適切に応える能力を見る。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
都市環境学専攻	○英語 空間環境学コース・物質環境学コースにおいては、TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、また、建築学コースは筆記試験から、英語に関する基礎的能力を評価する。 ○筆記試験（専門科目）・口述試験 大学院での学習・研究に必要とされる専門分野における基礎学力を評価する。ただし、社会人特別選抜は筆記試験（専門科目）を課さない。 ○面接（配点を行わないが合否判定の参考とする） 卒業論文、修士論文などの過去の実績、入進学後の研究、計画の発展性などを評価する。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
社会環境学専攻	○筆記試験（専門科目）[一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜のみ] 大学院での学習・研究に必要とされる、専門分野における基礎学力を評価する。 ○口述試験 [一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜・社会人特別選抜] 修士論文等の過去の研究実績、入進学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。 ○口述試験 [一般選抜（自己推薦入試）] 修士論文等の過去の研究実績、入進学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。また、英語能力も判断材料とする。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。

6.5 配点表

専攻等名	一般選抜		留学生特別選抜		社会人特別選抜	
	科目名	配点	科目名	配点	科目名	配点
地球環境科学専攻	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満点	100	満点	100	満点	100
都市環境学専攻 空間環境学コース	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目	500	専門科目	500		
	口述試験	300	口述試験	300	口述試験	400
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満点	1,000	満点	1,000	満点	600
都市環境学専攻 物質環境学コース	英語	200	英語	200	英語	200
	口述試験	300	口述試験	300	口述試験	300
	満点	500	満点	500	満点	500
都市環境学専攻 建築学コース	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目	450	専門科目	450		
	口述試験	350	口述試験	350	口述試験	800
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満点	1,000	満点	1,000	満点	1,000
社会環境学専攻 (普通入試)	専門科目	100	専門科目	100		
	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満点	200	満点	200	満点	100
社会環境学専攻 (自己推薦入試)	口述試験	100				
	満点	100				

7. 合格発表

平成30年2月20日（火）午後3時頃、環境総合館1階の掲示板に掲示する。

なお、後日郵送により判定結果を本人宛通知する。

8. 入学・進学手続き

入学・進学手続きは、平成30年3月28日（水）に行う。

詳細は合格者に対し文書により別途通知する。（3月上旬に発送予定）

なお、合格者のうち、有職者については入学・進学手続き時に所属長の承諾書または、承諾書に代わる書類の提出を求める。

9. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円〔予定〕

本学大学院博士課程（前期課程）を修了し、引き続き本研究科博士課程（後期課程）へ進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納付は不要。

(2) 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）〔予定〕

注1）授業料は、前期及び後期の2期に分けて、入学年度前期にあつては5月（ただし、次年

度以降前期は4月)、後期にあつては10月に納入する。

なお、入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

注2) 国費外国人留学生は、授業料の納付は不要。

10. そ の 他

- (1) 出願資格、出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は、あらかじめ大学院係へ問い合わせること。
- (2) 外国籍で海外で企業等に在職のまま、本研究科に入学を希望する者は、受験資格の有無を事前に大学院係に問い合わせること。(※本研究科に在留資格「留学」で在学することなどを条件とする。)
- (3) 名古屋大学においては、構内への車両の入構規制を実施しているため、受験の際は、公共交通機関を利用すること。
- (4) 名古屋市内に暴風特別警報、暴風警報もしくは気象等に関する特別警報が発令され、午前7時までに解除されない場合、あるいは災害発生時には、その日の試験の中止あるいは日程の変更がありうるため、本研究科ホームページ又は大学院係で確認すること。
- (5) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。

なお、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

- (6) 入学(進学)試験成績の開示について

受験者本人からの申請に基づき、平成30年度入学(進学)試験に係る試験成績について、受験者本人に開示する。

開示内容：入学(進学)試験の合計得点ならびに募集単位別の合格者の最高点、最低点、及び平均点

※ただし、合格者の最高点、最低点及び平均点については、募集単位別の合格者が10人未満の場合は開示しない。

申請期間：平成30年5月7日(月)～平成30年5月31日(木) 各日10時から16時(土日祝日を除く)

申請方法：本研究科所定の「開示願」により、当該試験の受験票及び返信用封筒(切手貼付)を添付して申請すること。「開示願」については、下記(8)連絡先へ照会して入手すること。

- (7) 障がいのある者等の出願

障がい等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、平成29年12月11日(月)までに、以下の3点を添えて、下記(8)の連絡先へ申し出ること。

- ① 受験上の配慮申請書(志望専攻等、障がいの状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4サイズ)
- ② 障がい等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでもよい)。
- ③ 障がい等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。
- ④ 適宜上記①～③以外の書類を添付しても構わない。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある者は、平成29年12月11日(月)までに問い合わせ

ること。

- (8) 連絡先：名古屋大学大学院環境学研究科大学院係
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D2-2 (510)
TEL 052-789-4272/4590
E-mail env@adm.nagoya-u.ac.jp

平成30 (2018) 年度
名古屋大学大学院環境学研究科
博士課程 (後期課程) 入学・進学志願票

Doctoral Program Application Form for Academic Year 2018
Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University

		※受験番号 (Examinee's Number)				
志望専攻・受験希望選択欄	<input type="checkbox"/> I. 地球環境科学専攻 (Department of Earth and Environmental Sciences)	社会人特別選抜において、オンライン受験を希望する場合、事前の内諾が必要であるため、以下を記入すること。 (Preference to take online video interview for "special application for career professionals") 指導希望教員からオンライン受験の内諾を得ている (Approved by your prospective supervisor.) <input type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No				
	<input type="checkbox"/> II. 都市環境学専攻 (Department of Environmental Engineering and Architecture)	受験希望コース (Course)	<input type="checkbox"/> ①空間環境学コース (Spatial Planning and Environment Course) <input type="checkbox"/> ②物質環境学コース (Materials and Environment Course) <input type="checkbox"/> ③建築学コース (Architecture Course)		統合環境学特別コースへの参加を希望 (I would like to apply for the Integrated Environmental Studies Course.) <input type="checkbox"/> する (Yes) / <input type="checkbox"/> しない (No)	
	・空間環境学コース受験希望者のみ記入 (For those taking the examination for Spatial Planning and Environment Course :) 名古屋大学国際環境人材育成プログラムへの参加を希望 (I would like to apply for the Nagoya University Global Environmental Leaders Program (NUGELP).) <input type="checkbox"/> する (Yes) / <input type="checkbox"/> しない (No)					
<input type="checkbox"/> III. 社会環境学専攻 (Department of Social and Human Environment)						
自己推薦入試を希望する場合、事前の了承が必要であるため、以下を記入すること。(Applicants of "self-recommendation admission" must fill out the information below.) 了承を得た教員名 (Name of your prospective supervisor who approved you of self-recommendation admission) [] 英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了している/する見込みである。(Graduation/Expected to graduate from an institution of higher education whose language of instruction is English.) <input type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No		自己推薦入試あるいは社会人特別選抜において、オンライン受験を希望する場合、事前の内諾が必要であるため、以下を記入すること。(Preference to take online video interview for "self-recommendation admission" or "special application for career professionals") 指導希望教員からオンライン受験の内諾を得ている (Approved by your prospective supervisor.) <input type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No		<input type="checkbox"/> する (Yes) / <input type="checkbox"/> しない (No)		
氏名	フリガナ (Furigana)			本籍地 (国籍) (Nationality)	国/ 都・道 府・県	
	漢字 (Name in Chinese Characters) (英字欄も記入)					
	英字 (Name in English)	(Family Name, First Name Middle Name)				
生年月日 (Date of Birth)	年 (Year)	月 (Month)	日 (Day)	性別 (Gender)	男 (Male) ・ 女 (Female)	
出願資格 (Applicant Qualifications)	国立・公立・私立 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 大学院 (Graduate School) 研究科 (Faculty/School) 専攻 (Department) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 年 (Year) 月 (Month) 日 (Day) 卒業 (見込) (Date of (Expected) Graduation) </div>					
受験希望選抜区分 (Application Type)	<input type="checkbox"/> ① 一般選抜 (General Application) <input type="checkbox"/> ② 留学生特別選抜 (Special Application for International Students) <input type="checkbox"/> ③ 社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)					

勤務先 (在職者のみ) (Name of Company or Institution; For Incumbents Only)	TEL	-
現住所 (Current Address)	□□□□-□□□□ (Post Code)	TEL (Landline) : - - 携帯 (Mobile Phone) : - - E-mail :
連絡先 (Contact Address)	□□□□-□□□□ (Post Code)	TEL (Landline) : - - 携帯 (Mobile Phone) : - - E-mail :

名古屋大学に在学中の者のみ記入すること。
(To be filled out only by applicants currently enrolled in Nagoya University.)

学生番号
(Student ID Number)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

入学検定料領収印
(Proof of Receipt of Application Fee)

注意

1. 受験番号欄は記入を要しない。
2. 志願票, 受験票, 写真票の所定欄に漏れなく記入すること。
3. 志望専攻・受験希望欄の該当する□欄に✓を記入すること。
4. 勤務先欄は, 有職者のみ記入し, 所属部課等まで記入すること。
5. E-mail 欄は, 電子メールによる連絡が可能な場合に, アドレスを記入すること。

NOTE

1. Leave Examinee's Number blank.
2. Make sure all the information on the Application Form, the Examinee's Registration Card and the Photograph Card is complete.
3. Tick appropriate boxes on the Application Form.
4. Only those in full time employment should give details of their company including the name of their department.
5. Please provide a valid e-mail address where you can be reached.

+

名古屋大学大学院環境学研究科
(Graduate School of Environmental Studies)
博士課程〔後期課程〕 (Doctoral Program)

- 一般選抜 (General Application)
 留学生特別選抜 (Special Application for International Students)
 社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)

平成30年度

受験票 (Examinee's Registration Card)

志望専攻 (Department)	
指導教員名* (Prospective Supervisor)	
※受験番号 (Examinee's Number)	(記入しない) (Do not write here)
フリガナ 氏名 (Name)	
生年月日 (Date of Birth)	年 月 日 生 男・女 (Year) (Month) (Day) (Male) (Female)

- 本票は、常に携帯し、入学の手続きが完了するまで保存すること。
 - 本票は、試験の際に机の上に置いて監督者に見えるようにすること。
 - 本票は、監督者の請求があれば何時でも見せること。
 - 遅刻した者は、指定された試験室の監督者に申し出ること。
- Keep this card at hand until the enrollment procedures for entrance are completed.
 - Place this card on the desk during the examination.
 - Present this card whenever required.
 - Notify the proctor if you are late for the examination.

* 「志願理由書」下部の注意書きを参照し、同理由書の指導教員名（都市環境学専攻空間環境学コースおよび物質環境学コースを除き、未定の場合は分野名）と同じものを記入すること。
 * Refer to the note at the bottom of 'Reason for Application'. Prospective Supervisors (Fields of Researches, if not decided, except for the Spatial Planning and Environment Course and the Materials and Environment Course, the Department of Environmental Engineering and Architecture) here should be the same as the ones on 'Reason for Application'.

受験票と写真票は
切り離さないこと

名古屋大学大学院環境学研究科
(Graduate School of Environmental Studies)
博士課程〔後期課程〕 (Doctoral Program)

- 一般選抜 (General Application)
 留学生特別選抜 (Special Application for International Students)
 社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)

平成30年度

写真票 (Photograph Card)

志望専攻 (Department)	
指導教員名* (Prospective Supervisor)	
※受験番号 (Examinee's Number)	(記入しない) (Do not write here)
フリガナ 氏名 (Name)	
緊急時の本人連絡先 (Your Telephone No. and E-mail Address)	(TEL) (E-mail)
生年月日 (Date of Birth)	年 月 日 生 男・女 (Year) (Month) (Day) (Male) (Female)

- 写真貼付欄
(Attach photograph here)
(4 cm × 3 cm)
- 写真は正面向き半身脱帽
3ヶ月以内撮影した
ものであること。
2. 全面糊付けすること。
 1. Photograph should be full-faced
and taken within the last 3
months.
2. Apply glue to entire reverse side.

出席確認欄 (Attendance Check)	

履 歴 書 (Curriculum Vitae/Resume)

志 望 専 攻 名 (Department)	氏 名 (Name)	※ 受 験 番 号 (Examinee's Number)

学 歴 (Educational Background)					
区分 (Level)	学校名 (Name of School)	正規の就学年数 (Required Years of Study)	入学及び卒業年月 (Year & Month of Entrance & Completion)		学位／資格 (Diploma or Degree awarded)
			年 (Year)	月 (Month)	
小学校 (Elementary School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
中学校 (Junior High School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
高校 (Senior High School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
大学 (Undergraduate School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
大学院 (Graduate School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
研究生等 (Research Student Department / School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
その他 (Other)		年 (Years)	From:		/
			To:		

職 歴 (Employment Record: in reverse chronological order)					
勤務先 (Name of Company)	勤務期間 (Period of Employment)			役職名 (Position)	職務内容 (Type of Work)
	年 (Year)	月 (Month)			
	From:				/
	To:				
	From:				/
	To:				
	From:				/
	To:				

注意

1. 学歴は高等学校卒業から記入すること。ただし、外国人出願者及び外国の大学を卒業した者は初等教育から全て記入すること。
2. 学歴欄の大学、大学院、研究生等は、学部／研究科名まで記入すること。
3. 学歴・職歴とも、名称等は省略せず正確に記入すること。
4. 空白期間がないよう全て記入すること。

NOTE

1. Academic record should be given starting with high school graduation. However, international applicants and those graduated from a foreign university should give full details starting from their elementary education.
2. Name of department and school should be given in "Undergraduate", "Graduate", and "Research Student" in the column of "Educational Background".
3. Do not use abbreviated names for any of the listed educational establishments or work places.
4. There should be no blank periods.

領収証書 (Receipt for Application Fee)

氏名 (Applicant's Name) 殿	平成 29 年 度	第 号
	国立大学法人名古屋大学	
	入 学 検 定 料	
納 付 金 額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥ 3 0 0 0 0
平成 年 月 日 領収		

氏名は本人が記入すること。

("Applicant's Name" should be filled out by the applicant himself or herself.)

(切り離さないこと)
Do not detach

領収証書 (控) (Applicant's Copy)

氏名 (Applicant's Name) 殿	平成 29 年 度	第 号
	国立大学法人名古屋大学	
	入 学 検 定 料	
納 入 金 額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥ 3 0 0 0 0
平成 年 月 日 領収		

氏名は本人が記入すること。

("Applicant's Name" should be filled out by the applicant himself or herself.)

(切り離さないこと)
Do not detach

